

---

# 動物ヶ原

天川つばさ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

動物ヶ原

### 【Nコード】

N5831I

### 【作者名】

天川つばさ

### 【あらすじ】

ひろーいひろーい原っぱ

たくさんの動物たちが住んでいます。

楽しい楽園にも厳しい掟があります。

(前書き)

むかしむかし

動物達の楽園がありました。

ひろーいひろーい原っぱ

ひろーいひろーい青空

ひろーいひろーい水辺

ここには、たくさんの動物達が住んでいる。

楽しくもありまた厳しい世界

このひろーいひろーい原っぱの真ん中に

でかーいでかーい木が立っている。

大昔から立っている動物達を見守りながら。

雨が降れば屋根になり

風が吹けば盾になる

太陽が照りつければ

やさしい木陰になってくれていた……

大昔から……

ある日、人間がその木を切り倒し自分のためだけに家を作ってしまった……

動物達は、段々と住み慣れたこの場所を離れて行ってしまっ……

最後までここに残るつもり動物が言った。

「わしら老いぼれ夫婦が出ていけばここは、お前らの土地となるじやろっ…… だがわしらは、離れんぞ！この楽園を人間どもにわたさんぞー！」

「どうせ死に損ないだ……楽になるがいい！バアン！」

あたりに火薬の匂いが立ち込める

「ふん！老いぼれめ！」

人間は、より住み良くするため道を作り

車を走らせて行く

見栄えの良い上っ面だけの物を表面に張り巡らし

美しい楽園を築き上げたのだ

だが…

数々の天変地異がおこり

人間は、いなくなつた…

ひろーいひろーい原っぱに

小さな木の芽

命の木の芽

人は、同じ過ちを繰り返して迷い続ける。

何度も…

何度も…

胸を痛め

躓き転ぶ

繰り返す事でやっと気づいていく…

自然と共存しなければ生きられない事に…

ゆっくりと歩き出した人々…

共に手を繋ぎ

ゆっくりと

ゆっくりと

ひろーいひろーいはらっぱに平和がおとずれたのは、大切な事に人がきずいたから。

今、あの小さな命の木の芽はりっぱに大きな木に成長しました。

ゆっくり

ゆっくり

手を繋ぎ歩いて行こう。

ひろーいひろーいはらっぱを素敵な大自然と共に

約束だよ…

約束だよ…

約束だよ！

(後書き)

最後まで読んでくださりありがとうございます。

ご意見、ご感想等ありましたらお聞かせください。

天川つばさ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5831i/>

---

動物ヶ原

2011年7月5日12時45分発行